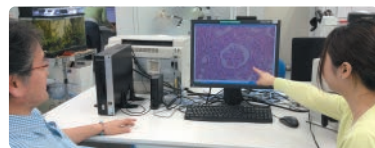


動物医療に特化したグローバルな検査会社の 診断医が、大切なご家族の検査を実施しました。

獣医師資格をもつ230余名の病理診断医および細胞診断医が世界中に在籍するアイデックス。
日本では20名の日本人診断医がグローバルチームと連携して信頼性の高い検査をご提供しています。



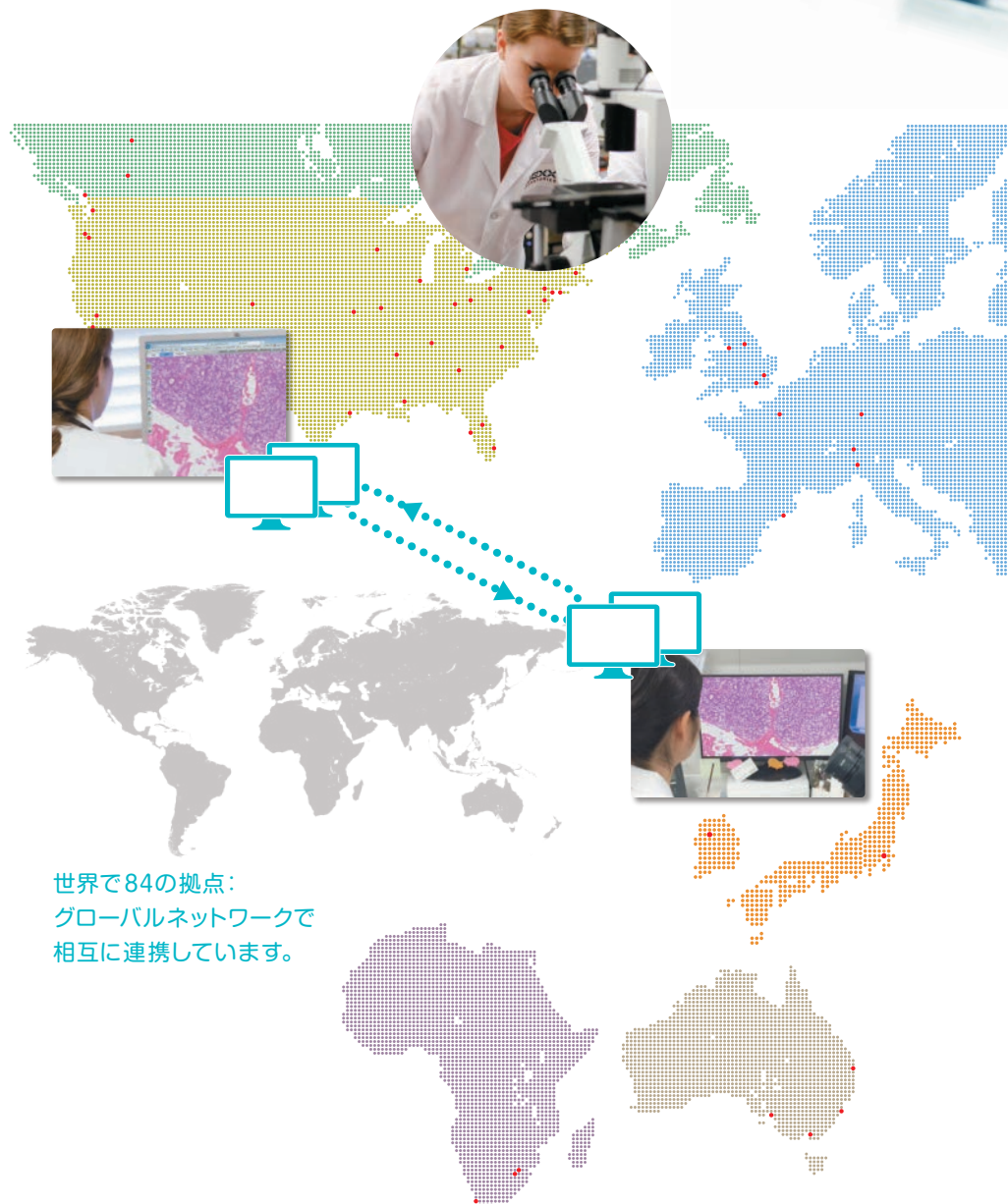
国内外の資格を持つ多数の診断医が在籍する日本のアイデックス検査サービス。日本の動物医療業界をリードする著名な臨床病理医を含む診断チームが世界標準の検査をご家族のために日々実施。各診断医は必要に応じて海外の専門医とも緊密に連携をとり、精度の高い総合的な病理学的評価を提供しています。

アメリカ獣医病理専門家協会会員 …… 6名
(ACVP認定医)

日本獣医病理学専門家協会会員 …… 10名
(JCVF認定医)

アジア獣医皮膚科専門医協会会員 …… 1名
(AiCVD認定医)

※記載しているアイデックスの拠点数及び診断医情報は
2020年12月現在のものです。



世界で84の拠点：
グローバルネットワークで
相互に連携しています。

IDEXX

IDEXX Laboratories, Inc.は、全世界で約9,000人の社員が175ヵ国以上の国々に製品やサービスを提供している動物臨床検査のグローバルリーダーです。日本では院内検査製品、外注検査サービス、さらに検査結果の情報管理ソリューションまでトータルにご提供しています。たとえば外注検査サービスでは、健康診断などの一般検査から、先進的な特殊検査、そして細胞診・病理組織検査まで、豊富な検査メニューで日々の診療をお手伝いしています。

アイデックス ジャパン公式サイト www.idexx.co.jp



アイデックスは、院内検査結果と外注検査結果を患者様ごとに統合して、パソコン、タブレット、スマートフォンで閲覧できるクラウドサービスを日本の動物病院向けに無償でご提供しています。中央の画面写真は病理組織検査結果の病理画像をインターネット画面上で拡大したものです。



細胞診・組織病理 検査結果ご案内

おなまえ

ちゃん

大切なご家族の状態を 信頼性の高い専門医が検査しました。

当院では、世界水準の診断医が多数在籍するIDEXX社の検査センターを利用しています。

動物病院の
検査情報サイト **CareMyPet**

ケアマイペットは、動物臨床検査の世界的なリーディングカンパニーIDEXXがご提供します。



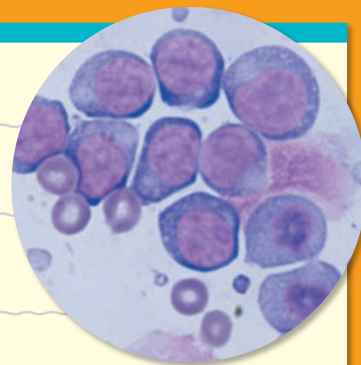
www.idexxjp.com/cmp

IDEXX

細胞診検査とは

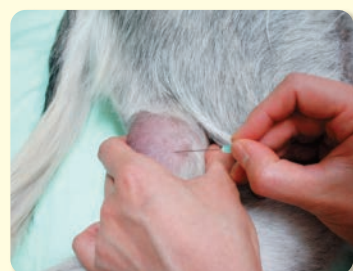
人間と同様に動物も体の表面や内臓に「できもの」ができることがあります。必ずしも「癌」——悪性腫瘍とは限りません。病原体の感染や炎症と関連した病気や良性腫瘍の場合もあります。そこでまず動物に負担の少ない細胞診検査で病変を調べます。

皮膚や内臓の「できもの」を、動物専門の細胞診断医が顕微鏡で調べる専門検査です。

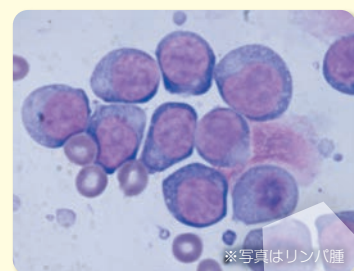


注射針を使って「できもの」内の細胞を採取し顕微鏡でその様子を観察します。
どのようなタイプの細胞が採れているか？ 観察されている細胞に形態的な異常があるか？ などを調べることで「できもの」の原因として『どのような

可能性が考えられるか』を評価します。
細胞診検査で得られた情報は、次に進むべき検査の内容や手術の必要性、さらに今後どのような治療を行うかなど、この先の診断・治療方針を決定する際に役立ちます。



注射針を使って細胞を採取します。

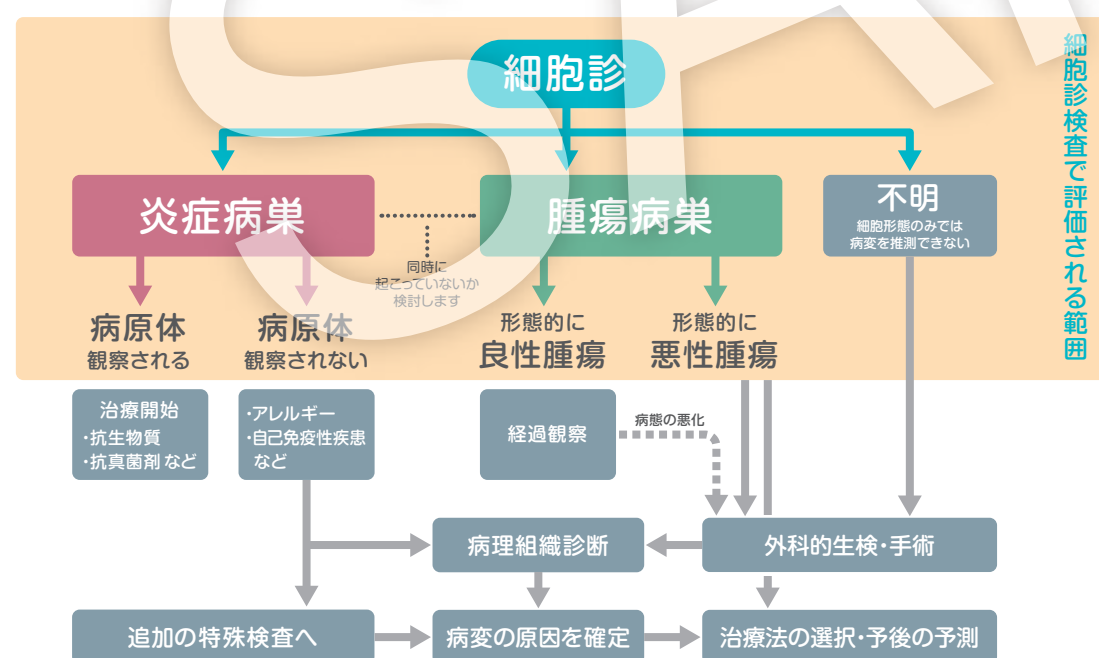


採られた細胞を顕微鏡で観察します。

細胞診検査で使用する注射針は、採血や投薬で使われる注射針と同じものです。そのため感じる痛みは最小限。さらに多くの場合*、全身麻酔を行うことなく検査に必要な量の細胞を採取することができます。

*処置を嫌がる部位から細胞を採取する場合、または安全面などから獣医師が必要と判断した場合には、全身/局部麻酔や鎮静処置を行うことがあります。

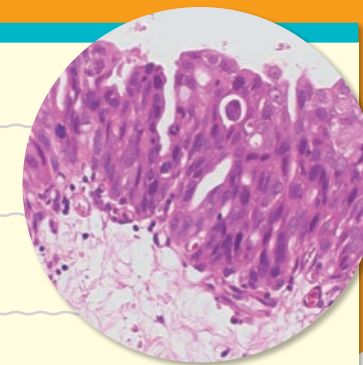
細胞診検査を行うことで今後の診断・治療方針が立てやすくなります。



病理組織検査とは

皮膚・乳腺・骨・軟部組織・リンパ節および各臓器など、病気が疑われる組織から切り取った一部を専門医が検査します。細胞の状態だけでなく、組織の配列なども観察。病気の原因を特定したり、病巣が手術できちゃんと切除されているかを確認めます。

肉眼では判断できない炎症や腫瘍を、動物専門の病理診断医が顕微鏡で調べる専門検査です。



採取した組織から組織標本を作成して、顕微鏡レベルで観察します。病変の種類（炎症、腫瘍）、腫瘍であれば良性/悪性、広がり、程度、血管やリンパ

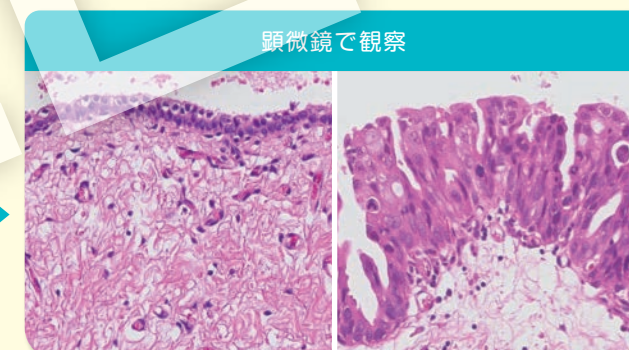
管への侵入、そしてリンパ節転移などを調べることができます。



臓器 [例：膀胱]



組織標本作成



顕微鏡で観察

正常な組織(膀胱)

癌化した組織(膀胱)

病気の原因を特定したり、病巣が手術できちゃんと切除されているかを確認めます。

病理検査の流れ

